

捜真女学校中学部生徒が職業インタビュー



本部広報センターで
広報官と記念撮影



インタビューを受ける広報官

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、7月22日（水）、本部広報センターにおいて、捜真女学校中学部3年生2名による「自衛隊の職業に関するインタビュー」を受けた。

本インタビューは、様々な職業について調べる同校の夏休みの課題の一環として行われたもので、生徒からは、海上自衛隊の艦艇での食事や余暇の過ごし方など艦艇乗組員の生活についての質問や、仕事に対するやりがいや苦勞、災害派遣における活動内容について多くの質問があった。質問を重ねるうちに、より一層海上自衛隊の仕事に興味を持ったとこのことで、採用試験や入隊からの訓練内容など、より具体的な質問をしていた。最後に生徒から、「自衛隊の皆さん、いつも本当にご苦勞様です」といった感謝の言葉をもらい、和やかな雰囲気の中、本インタビューを終えることができた。

横浜出張所は、「今後も、学校と密接に連携し、一人でも多くの生徒に自衛隊の活動に対する理解を深めてもらい、募集成果に繋がっていきたい」としている。

大磯町と海上自衛隊との防災対処訓練支援

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、7月24日（金）及び25日（土）、大磯町と海上自衛隊横須賀地方総監部の防災対処訓練を支援した。

訓練は、大規模災害時における大磯町と海上自衛隊との連携体制を検証する目的のもと、大磯町で大規模な災害が発生したと仮定し、海上自衛隊の曳船による物資輸送や救助活動を行うため大磯港への接岸検証も行われた。大磯港に海自の曳船が入港するのは初めてのことで、入港した曳船では、大磯町町長と横須賀地方総監部幕僚長、そして神奈川地本長の懇談も行われた。

また所員は、想定された災害の情報収集や大磯町と海上自衛隊との情報伝達を支援するとともに、訓練に合わせて行われた曳船の見学や広報ブースを設置した募集広報活動を行った。大磯港は、両日とも日頃目にするのではない海上自衛隊の曳船の見学や制服試着体験もでき、大いに賑わった。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊地域広報の窓口として、地域に根付いた募集広報に資するため、自治体と密接に協力し、防衛・防災基盤の拡充に努める」としている。



横須賀地方総監部幕僚長（右）と
地本部長（左）と記念撮影する見学者



大磯町長の中崎氏（右から2人目）を
出向える地本部長



広報ブースの様子